

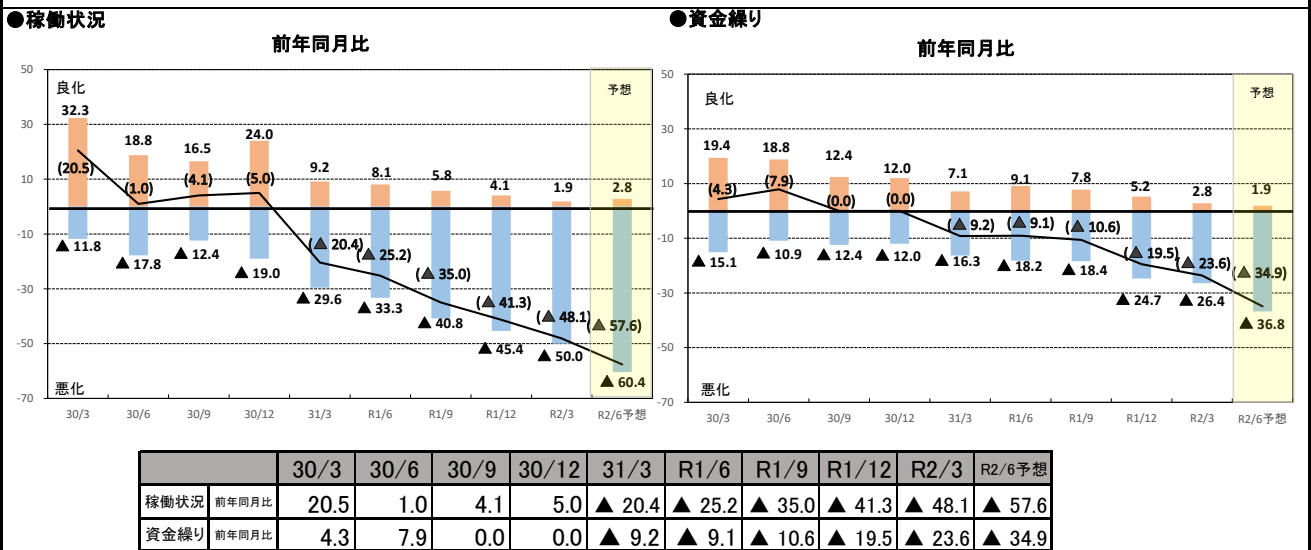
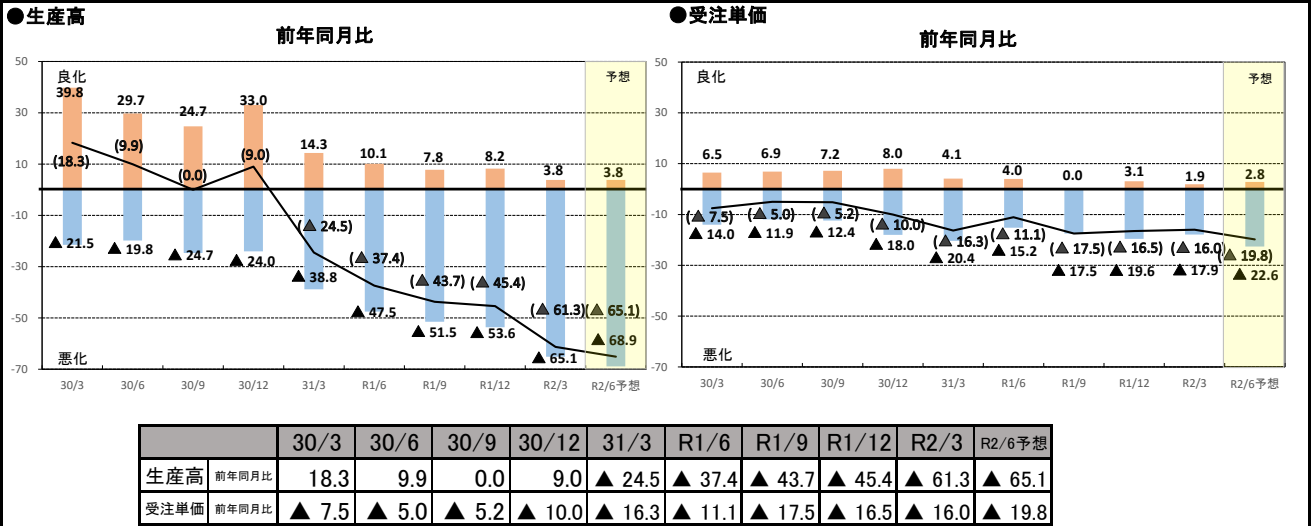
# 受注企業動向調査結果

-2020.4-

- 調査時点 令和2年3月調査(令和2年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 106社(回答率:70.67%)

＜業種内訳＞	
プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	18社
一般機械器具	25社
電気機器	19社
輸送用機器	8社
精密機器	12社
縫製	8社
計	106社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲61.3で前回の▲45.4から15.9ポイント減の悪化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲16.0で前回の▲16.5から0.5ポイント増で悪いながらも若干の改善となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲48.1で前回の▲41.3から6.8ポイント減の悪化となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲23.6で前回の▲19.5から4.1ポイント減の悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲65.1で3.8ポイント減の悪化、受注単価は▲19.8で3.8ポイント減の悪化、稼働状況が▲57.6で9.5ポイント減の悪化、資金繰りは▲34.9で11.3ポイント減の悪化という予想になった。
- ・その他自由意見として、新型コロナウイルス感染症の影響で先行きの不透明感が大きい、取引先の生産量低減や営業活動の自粛により受注が減っている、中国からの材料が納入されなくなり材料費が上昇している。また、若年労働者の不足により将来の技術承継に不安があるという意見が寄せられた。